







令和2年度 第1回 龍ヶ崎市子ども・子育て会議 会議録

供 覧	部長	課長	記録者	吉田正也	
	課長補佐	主査・係長	グループ員		
			 	 	

件 名	令和2年度 第1回 龍ヶ崎市子ども・子育て会議
日 時	令和2年10月27日（火）午後2時00分～午後3時15分
場 所	龍ヶ崎市役所5階 第1委員会室
出席者	<p><b>【委員】</b> 米原立将会長，飯塚拓也副会長，林敬子委員，橋詰すみ子委員，木島信也委員，小林史人委員，上條静子委員，松田暁奈委員，遠田康人委員，長江敦子委員</p> <p><b>【事務局】</b> 福祉部 清宮部長 こども家庭課 蔭山課長，沼尻課長補佐，篠塚課長補佐，豊嶋主査，記録者</p>
傍聴者	1人
会議の内容	<p>本日は，お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。ただ今から，令和2年度第1回龍ヶ崎市子ども・子育て会議を開会させていただきます。</p> <p>最初に今年度から新しく委員になられました方のご紹介をいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜新任委員の紹介＞</p> <p>それでは，会議に先立ちまして，米原会長よりごあいさつをお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">＜ 挨拶 ＞</p> <p><b>【事務局】</b> ありがとうございました。</p> <p>本日の委員の出席状況でございますが，委員総数15名のところ，10人の委員が出席されております。定足数に達しておりますので，本会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。</p>

それではこれより米原会長に、議長として議事進行をよろしくお願いいたします。

**【米原会長】**

まず、本日の会議の議事録署名人の選任でございますが、飯塚 拓也委員と上條 静子委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

**【米原会長】**

それでは、飯塚 拓也委員 上條 静子委員のご両名に議事録署名人をお願いいたします。

なお、議事録の作成にあたり、本会議は「審議会等の会議の公開に関する条例」によりまして、原則として「すべて公開」ということになっております。

そのため、議事録を公開するにあたり、市のホームページ等での各委員のお名前を記載してよろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

また、本日の会議に際しまして、傍聴の申し出がありましたので、龍ヶ崎市審議会等の会議の公開に関する条例の規定により、これを許可しておりますことをご報告申し上げます。

傍聴の方に申し上げます。傍聴注意事項に基づき、静粛に傍聴くださいますようお願いいたします。

それでは議事に入ります。(1) 子ども・子育て支援事業計画令和元年度実績について、事務局より説明願います。

<事務局説明>

**【米原会長】**

それではご質問やご意見等がありましたらお願いします。事前に資料を送らせて頂いたわけですが、ページの枚数も多く、事務局の方でも、掻い摘んで説明して頂きましたが、ご意見・ご質問ありましたら、いかがでしょうか。

**【飯塚委員】**

よろしいでしょうか。まず、幼児施設から出ているところですが、No.

1, 定員枠は66で、児童数は58。にもかかわらず、30名の待機児童ということで、その理由は、保育士の不足ということになるんですが、なんか、しっくりこない。つまり、しっくりこない理由を自分が考えてみたときに、幼児施設ごとに、もし何らかの、ここで、何か考えるべき点があれば。もう少し、踏み込んで、説明して頂けたらと思いますが。ちょっとこのことは、頭の中で、ストーンと落ちてこなくて。もちろん、保育士が足りないのは、言うまでもないけれども、利用定員がある限りは、本来は、その利用定員にあった保育士はいるはずではないのかなとか。

なので、この定員数66で、児童数が58で、その右側で、30名の待機児童数が発生したという、もうちょっと可能な限り、説明をして欲しいのと、令和2年度、今、どうなっているのかを、教えて頂きたい。

**【米原会長】**

はい、では、事務局お願いします。

**【事務局】**

0歳児の定員枠66のところ、児童数が58。9月の時点で30名の待機児童が出ているのは、示させていただいたとおりです。4月5月6月と月が進んでいくに従って、その都度、保育所を利用したいという申請をするわけですが、これが、0歳児でいうと、8月までに66がすべて埋まってしまうと。それが、さらに進んで、9月以降に、保育のお申し込みを頂いている方が、待機児童となるという、流れになります。9月に待機児童30名発生した時点で、空きがあったかという、埋まってしまっています。1・2・3歳も同じような理由になっています。2歳児は、8月ぐらいからです。

令和2年度の4月については、4月の時点では、待機児童が発生していません。待機児童ゼロだから、全員入っているかという、そうではなくて、兄弟同じ園に行きたいとか、この園の育児方針がいいので、この園にいきたい、という、強い思いをお持ちの保護者の方がいらっしゃいますので、そういった方は、他の施設が空いていても、そこに入りたいため、保留、いわば、待ちの状態を選ぶ保護者の方がいらっしゃいますが、そこは、カウントされないという統計上のルールがあります。

**【飯塚委員】**

ひなたキッズ、アドバンスが出来て、そういった意味では、「さらにもっと改善が出来るのか」、「場合によっては、0・1・2の既存の施設の0・1・2の利用定員を増やす」という辺りは、どうですか。

**【事務局】**

待機児童になっているほとんどが、0・1・2、それに加えて3歳が若干です。いわゆる低年齢層を中心に待機児童が発生しておりますので、地域

型小規模保育所は、0・1・2歳までなので、待機児童対策については、有効になっていると考えています。

最後に説明させていただこうと思っていたのですが、つばめ保育園が保育士不足に陥ってしまいまして、この4月から休止。利用定員70名のところだったので、市としても非常に痛いところです。

実は、フルスペックの保育所を整備しようということで、お話を進めていたところでしたが、その事業所の都合で、計画が白紙に戻った、という、経緯がありまして、それでも、市としては、新設の保育所が必要であることには変わりがないので、今、この10月2日から今週いっぱいまで、新しい保育所を設置して頂ける事業者を募集しているところです。

**【飯塚委員】**

募集については、どうやって、かけていたのでしょうか。

**【事務局】**

ホームページや記者発表で行っております。

**【飯塚委員】**

出来れば、そういうのを、既に法人格を持っているところにも。以前は、まつやま中央の時などには、「どうですか」と通知を頂いていましたよね。その辺を、確認して頂けると良かったなと思います。「私どもの既存園で、もし、増やせるところがあれば、対応しましょう」とか。どこの園でも法人格を持っていますから、法人を持っていれば、安定的に強いじゃないですか、だから、事前に、知りたかったなど。とりあえず、意見として申し上げます。

**【事務局】**

今週いっぱいをメ切として、募集を掛けているところなので、この後プロポーザルによる選考をして、最終的に1か所設置して頂ける事業所を決定していきたいと。11月の終わりには決定し、開設は遅くとも令和4年の4月1日を予定しています。

龍ヶ崎市は、毎年、10月の待機児童調査では、待機児童が出てしまいますが、待機児童の解消につながればと思います。

**【米原会長】**

4月時点では、待機児童が出ていないけれども、月を経るに伴って、待機児童が出てくるということで、地域型保育事業所である程度、吸収は出来ているが、必ずしも定員ではないというご説明でした。

正直、龍ヶ崎市の出生数が425ですので、0歳児の待機児童が30というのは、必ずしも少なということではないと。むしろ、多いんではないか

と。

育休を取れるよう企業の努力も必要でしょうし、皆で、いろいろ考えないといけないし、そういった意味では、情報共有をして、風通しを良くして。

他に、いかがでしょうか。

**【遠田委員】**

今の質問と関連しているのですが、毎年、待機児童については、調査をしているとのことですが、この調査内容というか、待機している間は、どのようにしているのか、どうしていたのか、どういう状態にあらわれていたのでしょうか。

**【米原会長】**

待機中は、どのようにしていたのか、ということですね。それでは、事務局お願いします。

**【事務局】**

多くは、ご家庭でみています。一時保育を利用する方もいらっしゃいますが、大半は、家庭でみています。

**【遠田委員】**

先ほど、立ちあげた専門の部署があると説明がありましたが、定期的な聞き取りだとかあるのですか。

**【事務局】**

入所の選考といいまして、毎月に行っていますが、その都度「入れませんでした」という通知が送っていない状況です。このようなところで、家庭の状況を掴んでいるところです。

**【遠田委員】**

それでは、ここに記載されているのは、つばめ保育園さんが、そうでなくなったこれが理由で30名ということだったのですが、年によって、待機児童になっている理由がいろいろ違っていて、平成31年度の理由については、つばめ保育園さんが中心的な理由だったということですかね。

**【事務局】**

中心的といいますか、それが、その理由の一つですが、それだけではありません。0歳児については、保育士がみられる制限が3人までという国の基準の制限がありますので、どうしても、多く預かろうとする

と、保育士を確保しなければいけないという実態があるので、保育士不足の要因が大きいと感じております。

**【遠田委員】**

それでは、お待ちになっている保護者の皆さんには、「そういう理由でお待ちになっている」という、説明だったのですね。

**【事務局】**

はい、そうです。

**【米原会長】**

他に、ご質問があったら、どうぞ。

令和2年度の10月時点での状況は、いかがでしたか。

**【事務局】**

令和2年の10月は、待機児童は、出ていません。

**【米原会長】**

それは、コロナの影響がありますか。

**【事務局】**

それは、あると思います。例年に比べると、申し込みの人数が、若干少ないのが、数字として出ていまして。その要因の分析まではしていませんが、おそらくコロナの影響は大きいのではないかと。やはり、施設に預けて感染してしまうので、心配しています。

現に、年度当初「施設に預けるのは心配なので」と内定は出たのですが、入園を取り下げている保護者の方もいらっしゃいました。このような事からコロナの影響、と考えています。

**【遠田委員】**

園に入るか入れないかという問題ではなく、子どもたちや保護者の方がどうしているかという、そういう観点でご質問したところですが、もし、待機していたら、どのようにされていたのか、あるいは、入ってからでも気を付けていかなければいけないこともあるかと思うのですが。

とりわけ待機している間はどのようにしているのかが、気になったので。いろんな事に繋がって行くのではないかと、ご質問差し上げました。ありがとうございました。

**【米原会長】**

家庭でみるとなると、子育て支援事業の利用にも繋がるわけでもあるでしょうし、他の様々な事業にも影響があるということですね。それについては、より丁寧に様子を見ていくという体制が出来ているのでしようから期待したいと思います。

**【米原会長】**

その他、いかがでしょうか。

**【木島委員】**

障害児関係で、いくつかご質問させていただきます。

4ページのNo.7です。つぼみ園等と連携を図りながら、それぞれの障がいの状況に応じた適切な幼児教育や保育サービスの提供を図ります、とあります。つぼみ園さんを利用していない方については、健康増進課等で、カバーしていると思いますが、これは、計画なので、今後の流れとして、法的なサービスとして、「保育所等訪問制度」という、つぼみ園さんは、まだ、その資格を取っていないのですが、そのようなものがあれば、つぼみ園さんに通われていないお子さんも、法的に、親・子支援の適切な支援ができるのではないかと。どこかの事業者さんなどを公にできるのであれば、体制やシステムが作ればいいのかと考えます。

とびまして、25ページ、No.56です。在宅の障がいのある児童を対象に、機能訓練・社会適応訓練・創作的活動など、児童の発達に応じた指導や訓練を行い、早期療育を図ります、のところです。これの指標ですが、つぼみ園さんに通っているお子さんだけになっています。障がい児支援は、市内に限っても、つぼみ園さんだけではありません、他にもたくさんあります。指標としては、こういった指標なので、しょうがないのですが、つぼみ園さん以外を利用しているお子さんを加えた時に、どういった数になっているのか、その数が知りたい、と思います。

**【米原会長】**

その数、わかりますか。

**【木島委員】**

もう一つ確認させてください。

No.55、ショートステイのところですか。龍ヶ崎市の実情として、セルフプランの方がほとんどだと思います。お子さんの疾病等々なので家庭における児童の介護が困難ということなので、体制はセルフプランでなくて、市の方で、付けなさいということで、相談員がついている方だと思いますが、セルフプランの方の場合の対応について、どのようにしているのかをお聞きしたいと思います。

**【米原会長】**

それでは、4ページの見通し、方向性についてどうでしょうか。

**【事務局】**

4ページの保育所等の見通しについては、こちらの訪問支援事業、期待しているところです。先日、こども家庭課と社会福祉課、健康増進課、教育センターそれに飯塚先生を始めとした、保育施設の先生方と懇談会を開いて、障がいのあるお子さん、支援が必要なお子さんに対して、これからどういうふうにしていくことが、そのお子さんにとって、望ましいことなのか、というのをこれから構築していこうという話し合いを持ちました。その中で、個別シートを作りましょうということや相談窓口をどこにしましょうということなどを、踏み込んで、意見交換をして、今後の体制づくりに向けて一歩踏み出した状況です。その中の一つに、つぼみ園を充実させていくということも聞いていますので、その辺を上手くリンクさせながら、障がい児支援をしていけたらいいなと思っております。

**【米原会長】**

保育所等の訪問事業については、なかなか事業者がない、というのが現状となっています。

それでは、先に25ページのご質問について、どうでしょうか。

**【事務局】**

No.55, 56については、社会福祉課に確認します。確認後、後日改めて、お知らせいたします。この場では、ご了承ください。

**【米原会長】**

市内の児童発達事業者は、いくつかできていますので、現状に即した内容になるといいという、ご指摘だと思いますので、このところは、前向きにお願いします。

木島さんいかがでしょうか。

**【木島委員】**

はい、それで。これについては、幼稚園・保育園だけではなく、小学校など大学、就学についてもできる場合もあるので、つぼみ園などが、前向きになって頂けると、だいぶ、市としても変わっていくのかなと思います。

**【飯塚委員】**

実は、私、木島委員がおっしゃったことと同じ質問をしようと思っていました。私が、保育所等訪問事業を知ったのは最近です。

なので、一つの課題として、龍ヶ崎市でまだ十分にプラットホームに



なっていないという現実をここで共有したいのです。

厚労省で、いろんなメニューを出しています。最近では、父親の産後うつなどの支援なども出てきています。なかなか、普段は保育の方で忙しく厚労省が出してくれている情報に触れていないです。

もし出来れば、木島さんがおっしゃった幼児施設だけではないですが、一人の子ども一つの家をどういう形で、皆で取り囲んでいくかという視点の中で、そこに関わるいろんなところで、情報がスーッと流れて行って、どこかで集約してやれないかなと。そういった、プラットホームになっていくような、場所づくりを作っていないと。縦割りではなく、横に広がらないと。反省を込めて言っていますが、せっかく法人を持ち施設を持っているのにも関わらず、それが十分に使命を果たしているのかなと、考えて反省はしていますが、龍ヶ崎市で、プラットホームを作っていけないのかということ強く思っています。

保育所等訪問事業については、うちの園でやろうと思っています。どうなっていますかということを知りたくて。他でやっているんだったら、いいんだけど、そこらへんで、厚労省が出してくれるメニューで、龍ヶ崎市がやれていないことがあれば、それについて、取り組めるところは取り組みたいな、と。幼児施設としては、認可を受けて法人化している以上は、今の時代の中で、子どもまたその家庭を取り囲んでいくということ、私たちは知りません」とは、絶対に言ってはいけない。そこらへんは、私たちが、変わっていかなければいけない、と。そういったことを少し意識して、市の方でも。この前の会議もとてもよかったけれども、それが、プラットホームになっていけるような、そういった取り組みをしていただけると、嬉しいです。

#### 【米原会長】

はい、ありがとうございます。

子育て世代包括支援センターなど、母子保健からノンストップで支援を行うものも始まっていますが、今、話題に上がっている福祉に関わるものがまだまだと。担当部署とそれ以外では、情報が偏っていたりということがありますので、共有して、周りに伝えていくという、まさに、市民にきちんと情報を伝えて、市民の力を生かすということで、行政の力に期待したいと思います、いうご指摘だったと思います。

#### 【飯塚委員】

紹介になりますが、幼児施設とつぼみ園やおひさまくらぶとの連携、幼児施設と小学校との接続のところで、障がいがあるとされる子どもたちに関しての、つぼみ園・教育センターと少しずつ始めているところです。そこで、今まで少し抜けているのは、既にいずれかの幼児施設に在籍している子どもに関しては、その幼児教育の生活を中心にしていただいて、そこから、その幼児施設で出来ないことを、例えばつぼみ園がする、そういった連携を作らなければいけないというふうに考えています。今までは、保護者が、健診などからつぼみ園、そして、保護者がつぼみ園にいて、そこで、療育を受ける。そして、結果的に、在園して

いる園に「今度、いついつ、行きます」ということになっています。そこに、幼児施設が存在しないまま、「療育」が行われてきたというのを防ぐには。

まだ、幼児施設に在籍していな子は、ダイレクトにつぼみ園が関わるべきだけれども、もうすでに、在籍しているので、その施設と市との連携を上手く作っていけないかなど。今少しずつ、模索をしているところです。やはり、これを子ども子育て会議でも知っておいてほしいなど思い少し発言をしました。

#### 【木島委員】

その絡みで言わせてもらおうと、すごく素晴らしいことだと思います。先ほど、セルフプランの話が出ましたけれども、相談支援専門員が、龍ケ崎市は、全体的に不足しているので、本来であれば、福祉施設を使うためには、相談支援専門員が絶対。ただ、龍ケ崎市は、相談支援専門員が足りていないので、セルフプランになっている。相談支援専門員は、福祉施設を使うためなのかも知れないけれども、目的としては、先生おっしゃるように生活と人生を支えていくためのものですので、相談支援専門員の養成も、保育士が足りないからと一緒に、相談支援専門員がいないからこそ増やすこと、そして質を上げていくこと、そして、ネットワークに組込むようにできると、かなり小さい時から、質の高い連携が図れると思います。相談支援専門員は、重要ですので、力を入れて頂けると、有難いと思います。

#### 【米原会長】

今度は、テーマを決めて、社会福祉課にも来て頂いて、よりよいやり方というものをきちんと検討できるようになると良いと思います。そのところを、今後の課題として、是非、実現できるように、お願いします。

障がいをお持ちのお子さんの療育の計画を立てる専門員がほとんどいない、その養成のことから考えていかなければいけない、ということですね。

ケアプランを立てるというのは、子どもだけでなく、成人でも、十分ではありませんので、今後の課題として、検討できるといいと思います。

#### 【飯塚委員】

最後に聞いたかったのは、57ページのNo.119のところですが、子育てが楽しいと回答したところで、100の数値に対して、就学前児童の保護者の割合が95.2、その下にサービスのことがありますが、逆にいうと、4.8%の人が、子育てが楽しいと回答してないわけなので、ここがすごく気になっていて、残りの4.8%の人は、どういう内容なのか、「あんまり楽しくないのか、楽しいと思えないのか、辛くて苦しいのか」を知りたい。もちろん、100になるのは、嬉しいのですが、僅か4.8%でも、私にとってすごく大きな数字で、子育てが楽しいと回答出来ない人、ここをも

う少し内容を知りつつ、何かそこから、学ぶことが出来るのではないか  
と思ったので、お話ししました。

**【米原会長】**

無回答とか、数字でわかるところとか、ありますか。

お答えできるところありますか。

あるいは、この数字をみて、何か支援ができることがあるのか、いか  
がでしょうか。

**【事務局】**

アンケート結果につきましては、選択肢が「満足」「まあまあ満足」  
になっておりまして、満足していない理由については追えない調査にな  
っております。楽しいと思えない理由というのは、見いだせない状況で  
す。

**【米原会長】**

満足していない人の数値が4.8%ということでしょうか、それとも、無  
回答も入っていますか。

**【事務局】**

無回答も入っております。

**【米原会長】**

それでは、数字だけでも。

先生のところでも、20人に一人の割合ですから、とても重い数値です  
よね。皆で共有していかなければいけない数値だと思います。

**【飯塚委員】**

大事なのは、満足している人より満足していない人だと思いますの  
で、「何故か」とか、もっと考えていってほしいと思います。責めるつ  
もりは無いから、そこから見えてくるものがあるから。

**【事務局】**

満足しているという方が、大半ですけれども満足していないという方  
は、もっと良くするための回答なのかとも思います。アンケートの回答  
についても、今後行う調査について、参考にしたいと思います。

**【米原会長】**

他、いかがでしょうか。

事務局から、今年度の出生数が大幅に減るという予測があるという明らかに保育園・小学校を含めて、年度の数の増減は大きな影響がありますので、長いスパンで注視していかなければいけないことになろうかと思えます。コロナということで、日常生活に一番影響がある自らの生活を守ることでできない小さい子や障がいをお持ちの方、両方抱えている方ですとか、さまざまだと思いますが、この会議以外でも、子どもに対して、ちょっとこういうのが気になるとか、こういったことってどうなっているのかなど、会議以外でも共有出来ればと思いますので、事務局に気軽にお声掛けいただければと思います。

続きまして、(2) その他の事項でございますが、皆さん、いかがでしょうか、それぞれのお立場から。コロナ、若しくは、それ以外で、情報共有できるものがあれば。

事務局から何かありますか。

#### 【事務局】

皆様の机の上に「夫婦で話そう、考えよう。パパ育休のこと」の冊子を置かせ頂きました。市民の方から、こういった冊子があるよと、情報提供を受けまして、こちらの会社と連絡を取りまして、男性の育児参加に対して漫画で分かり易く書いてあり、いい冊子なので、業者と調整いたしまして、これから、母子手帳交付等に配布していきたいと考えております。本日、会社の方から冊子が届きましたので、委員の皆様にも、配らせていただきました。当市におきましては、男性の育児休暇についても推進していきたいと考えておりますので、お目通し頂けたらと思えます。

続きまして、次回の審議会の予定ですが、基本的にこの事業報告の他に、協議すべき案件が生じた時に開催しておりますが、たとえば保育所の認可等のときに、お願いしているんですが、本年度につきましては、当面予定はございませんので、審議の案件が生じた時に、お声掛けさせて頂きたいと思えますので、よろしく願いいたします。事務局としては、以上です。

#### 【米原会長】

それでは、この辺で議事を閉じたいと思えます。進行を事務局にお返しします。ご協力ありがとうございました。

#### 4 閉 会

#### 【事務局】

米原会長、議事進行ありがとうございました。

委員の皆様におかれましても、長時間にわたる慎重審議ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和2年度第1回龍ヶ崎市子ども・子育て会議を閉会とさせていただきます。  
ご協力ありがとうございました。

上記については、令和2年10月27日に開催した、令和2年度第1回龍ヶ崎市子ども・子育て会議の会議録に、相違ないことを確認したので署名する。

令和2年 月 日

議事録署名人 飯塚 拓也

議事録署名人 上條 静子

